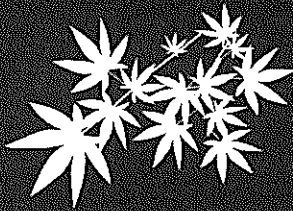


ふれあいウォーク

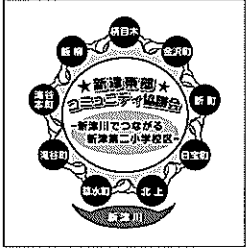


in 胎内平を終えて

10月20日(日)

新津東部コミュニティ協だより ミニかわら版

No.1
11月15日号



●新津東部
コミュニティ協議会
【事務局】
新潟市秋葉区新津東町
1丁目5番12号
新津地区勤労青少年ホーム内
TEL / FAX 0250 - 23 - 0780



福祉健康部 石澤 哲 夫
十月二十日(日)東部地区各地より観光バス四台に分乗、高速道で一路胎内平へ出発。途中胎内観音で暫しの休憩、十一時には目的地「胎内平青年の森研修館」へ到着。

あいにく朝からの雨「昨日までの晴天が嘘のような悪天候、参加された皆さんも口々に「晴れてればね」と恨めしそうな様子、館内も百六十名を超える参加者のため満員御礼・ぎゅううぎゅう詰め状態、二部屋に分かれての開会式。

(東部コミュニティ協議会)を代表して中津事務局長より挨拶、続いて福祉健康部より日程説明、その後準備された「おにぎり、味噌汁、カップラーメン」などで楽しい昼食会を行いました。雨で屋外の紅葉を眺めながらのだんらんはできませんでしたが、狭い部屋で寄り添いながら「食べなせや!、飲みなせや」と和気あいあい、楽しい昼食会でした。

三世代、地域を超えてのふれあい、絆も深まったのではないかと思います。

食事の後、出発までの一時間あまり、各自グループで天文館に行く人、傘を差しながらの園内散策、昭和両陛下お手植えの杉「植樹祭会場跡地まで」役四十分の散歩、ここでも「晴れてればね」の連発、両陛下が植樹祭の時に歩かれた小道をみんなど懐かしみながら歩き「んんん・ほほ」と納得していました。

毎年福祉健康部主管で行われている「ふれあいウォーク」も今年で4回目を迎え、年々参加者が増加しております。東部コミュニティ協議会では東部地区在住の皆様が「地域を超えてふれあい、さらに絆が強くなるよう」色々な企画を考えております。「最小限の費用で最大の効果を」と考え進めて行きたいと存じます。帰り道、菅谷寺に立ち寄り、参拝、買い物などで楽しみ、無事帰路に着きました。「来年はどこだろうね?」など等、話もはずみ有意義な一日を過ごしました。

最後に、参加された皆様、企画から当日運営までご尽力いただいた各地区町内会長各位、福祉委員各位「お疲れ様でした、ありがとうございます。」

第五回 東部地区

文化展開催

十月二十七日

文化教養部 佐々木 富雄

十月二十七日(日)新津第二小学校の文化祭に併せて、第五回東部地区文化展を開催しました。

町内回覧を通じて作品の出品者をお願いしました所、二十八点の出品を頂きました。丹精を込めて育てた盆栽、時間をかけて根気良く作り上げた手芸品、他に絵画、書、写真、工芸品等すばらしい作品ばかりでした。地域の大勢の方々に出展と鑑賞のご協力をいただきました。大変ありがとうございました。

この文化展を機会に東部地区の皆様の間を深めながら、さらには地域と学校の絆を強め、皆様の作品を介して「顔の見える関係づくり」に役立てばと願っております。



第3回 新津東部ゴルフ大会が 開催されました



第3回新津東部コミュニティ協議会ゴルフ大会が、10月11日(金)に開催されました。

参加者は13名で、天候に悩まされながらも和気あいあいでのプレーを行いました。

競技は9ホールペリア方式で行い、優勝は、滝谷町の坂井信雄さんでした。



優勝者コメント

滝谷町 坂井 信雄

当日は、秋晴れのもとでのプレーとはならず、時おり雨の降るあいにくの天候でしたが、私に運があったようで、まさかの優勝となり嬉しい限りです。

今後楽しくゴルフができることに感謝しながら、健康に気をつけ、無理をせず、ほどほどに精進してゆきたいと思っております。

なお、コミ協ゴルフ大会の運営にご尽力されている方々に敬意を表します。ありがとうございました。

ご報告

去る9月27日に、第6回常任委員会が、開催され、石津良雄副会長から提出されていた、辞表の取り扱いについての協議が行われ、辞表を受理することが決定され、現在、副会長職は、空席となっております。

【お知らせ】

東部コミ協だより10月号で、お知らせした、福祉健康部 副部長の記載が、誤っておりました。

正しくは、古川修子さん(新町一丁目)が、副部長となっておりますので宜しく、お願い申し上げます。

新津東部コミ協だより ミニかわら版 No.1

—平成25年11月15日号—

- 発行者：新津東部
コミュニティ協議会
- 発行人：斎藤 龍秋
- 事務局：新潟市
秋葉区新津東町
1丁目5番12号
新津地区
勤労青少年ホーム内
TEL・FAX 0250-23-0780
- 編集：新津東部
コミュニティ協議会 総務部
- 印刷：(有)新津プリント社

■地域の古紙収集活動で、得られる交付金が、東部コミ協の貴重な活動費の一部となっています。